

(1) 建築物

C1 建築計画／配置・外構

C1-1 空地の配置・意匠

	基準	解説
3つのエリア共通	敷地内の境界付近に道路空間など一体となったゆとりと潤いのある空間を創り出すように、空地の配置・意匠に配慮する。	①
	敷地内の空地では、植栽の充実や舗装のしつらえの工夫など、潤いのある空間となるように努める。	②
堺環濠都市地域	大小路筋や大道筋沿いにおいては、歩いて楽しい沿道景観に寄与するよう空地を効果的に配置する。	③
【解説】 通りのまちなみと調和し、道路空間と連続性のあるデザインとするため、建築物の配置や敷地内の空地の取り方に工夫が必要です。		

【3つのエリア共通】

① 壁面後退によりオープンスペースを創出する

通りに面した壁面はできるだけ後退させてオープンスペースを創出し、ゆとりある空間を確保しましょう。



敷地に緑は配置されているものの、建物が道路際に配置されており、ゆとりがなく圧迫感のある印象



敷地内の空地はできるだけ道路側に配置し、ゆとり空間を創出



敷地に設けた空地に植栽を配して、沿道にゆとりと潤いを創出



敷地の後退部分に配した植栽が連続して、緑豊かな通りを演出

(1) 建築物
A 地域特性

(1) 建築物
B まちなみ

(1) 建築物
C1 建築計画／配置・外構

(1) 建築物
C2 建築計画／建築物

(1) 建築物
C3 建築計画／付帯設備等

(2) 工作物

【3つのエリア共通】

② 植栽等により、ゆとりと潤いのある空間を創出する

空地にはできるだけ植栽を充実させ、休憩スペースを設けるなど、ゆとりと潤いのある空間をつくりましょう。植栽スペースを確保することが難しい場合は、舗装を工夫することでも潤いのある空間を演出できます。



【堺環濠都市地域】

③ 居心地がよく歩きたくなる通りにする

大小路筋や大道筋沿道では、多様な人々の交流やにぎわいが感じられる空間を創出するため、歩道と建物の間に積極的に空地を設けて店舗の屋外スペースやイベントスペースにするなど、歩いて楽しい通りとなるよう工夫しましょう。





まちなかの空地やセットバックした部分に気軽に休息できるスペース等を設けている

(1) 建築物
A 地域特性

(1) 建築物
B まちなみ

(1) 建築物
C1 建築計画／配置・外構

(1) 建築物
C2 建築計画／建築物

(1) 建築物
C3 建築計画／付帯設備等

(2) 工作物

C1-2 敷地の形態・意匠

	基準	解説
全市域 (百舌鳥・環濠以外)	敷地の塀・フェンスなどについては、植栽になじむ低明度・低彩度のものとするなど、めだちすぎないような形態・意匠とする。	①
	敷地には植栽を配置するなど、潤いのある道路空間となるよう配慮する。また、隣地との境界の仕様を工夫し、通りとして緑が連続するように努める。	②
百舌鳥古墳群周辺 景観地区	敷地の門・塀・フェンスなどについては、植栽になじむ低明度・低彩度のものとするなど、めだちすぎないような形態・意匠とする。	①
	敷地には植栽の配置や舗装の工夫をおこなうなど、緑豊かな百舌鳥古墳群と調和した潤いのある道路空間となるよう配慮する。また、隣地との境界の仕様を工夫し、通りとして緑が連続するように努める。	②
堺環濠都市地域	敷地の塀・フェンスなどについては、植栽になじむ低明度・低彩度のものとするなど、めだちすぎないような形態・意匠とする。	①
	敷地には植栽を配置するなど、潤いのある道路空間となるよう配慮する。また、隣地との境界の仕様を工夫し、通りとして緑が連続するように努める。	②
	大小路筋や大道筋沿いにおいては、歩いて楽しい沿道景観となるように植栽の充実やベンチの設置、空地の確保など開放的なしつらえとする。	③
	町家が点在する北部や寺社が点在する東部及び南部、紀州街道などの街道沿いにおいては、周辺の歴史的な建築物の壁の位置に壁面を揃える、又は壁の位置に合わせてまちなみと調和した門柱や塀等を設けるなど、歴史的なまちなみに配慮した敷地とするよう努める。	④
	濠沿いにおいては、遊歩道との連続性や緑化に配慮した敷地の形態・意匠とし、潤いが感じられる水辺空間の創出に努める。	⑤
【解説】 前面道路との境界付近は通りを歩く人の目に触れやすい場所です。敷地は、通りに対する表情やまちなみとしての一体感を考慮したデザインにしましょう。		

(1) 建築物
A 地域特性

(1) 建築物
B まちなみ

(1) 建築物
C1 建築計画／配置・外構

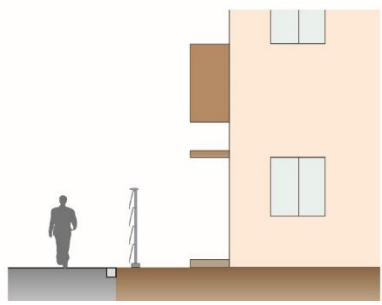
(1) 建築物
C2 建築計画／建築物

(1) 建築物
C3 建築計画／付帯施設等

(2) 工作物

① 塀やフェンスがめだたないようにする

敷地に塀やフェンスを設置する場合は必要最小限とし、低明度・低彩度のめだたない色彩を使用する、フェンスの前（道路側）に植栽を設けるなど、通り景観に配慮しましょう。特に、百舌鳥古墳群周辺景観地区では門・塀・フェンスに用いる色彩の彩度を YR 系：6 以下、R・Y 系：4 以下、その他の色相：2 以下とし、緑豊かな古墳と調和するように配慮しましょう。



フェンスのみの設置は無機質な印象を与えてしまう



フェンスの前に植栽を配して柔らかい印象を演出



フェンスの前に生垣を配置して、柔らかな印象にしている



白色や緑色のフェンスはめだちやすく、周囲になじみにくい

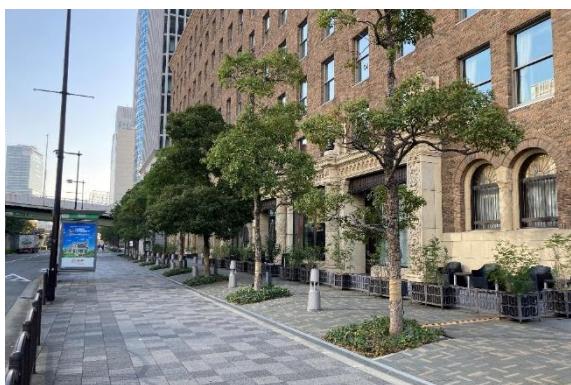


周囲になじみやすいこげ茶色のフェンス

【3つのエリア共通】

②敷際の植栽により潤いある空間を創出する

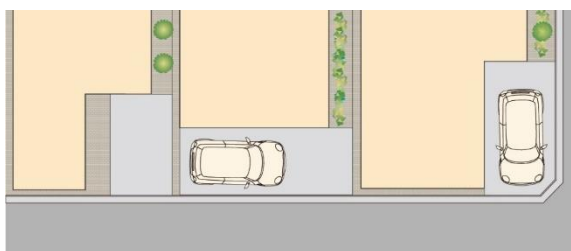
敷際に植栽を効果的に配置することで建築物や通りの印象が良くなります。植栽は周辺の緑地や隣接地の緑と連続させることで、通りとしての一体感が生まれます。スペース的に敷際への植栽が難しい場合でも、緑化ブロックや地被類を配することで緑化空間を創出できます。特に、緑豊かな百舌鳥古墳群周辺景観地区では、積極的に敷際に植栽を配置しましょう。



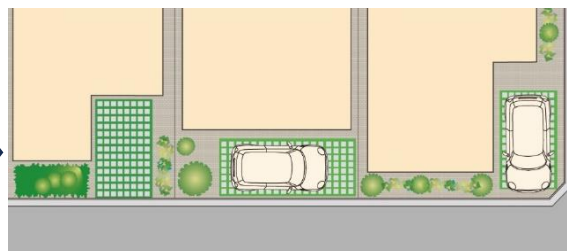
高木を連続的に配置し、歩行者動線に沿って緑陰を繋げている



軒下の空間を有効活用して植栽を配置



敷地の奥側に植栽を配置しても緑が繋がらず、潤いのある空間を感じにくい



植栽や緑化ブロック、地被類等を道路側に配置し、緑の繋がりのある空間を創出



敷際に生垣や高木を配置して、通りとして緑が連続した潤いある通り景観を演出



(1) 建築物
A 地域特性

(1) 建築物
B まちなみ

(1) 建築物
C1 建築計画／配置・外構

(1) 建築物
C2 建築計画／建築物

(1) 建築物
C3 建築計画／付帯設備等

(2) 工作物

(1) 建築物
A 地域特性



限られた敷地の中でも緑化ブロックを用いて潤いを創出

(1) 建築物
B まちなみ

【堺環濠都市地域】

③ エントランスアプローチを魅力的にする

エントランスアプローチは、人の出入りが多く、建築物の印象を左右する重要な空間です。特に、人々が憩い・交流する大小路筋や大道筋では、店舗だけでなく住宅や事務所などでもデザインを工夫し、植栽や空地なども活用しながら魅力的な空間となるようにしましょう。

(1) 建築物
C1 建築計画／配置・外構



庭園風の植栽をアプローチ沿いに設けた魅力的な玄関口



趣のある和風の造作を取り入れたアプローチ

(1) 建築物
C2 建築計画／建築物



敷地内へ誘導するアプローチを植栽で彩っている



エントランス周りに植栽やベンチを配置してゆとりを演出

(1) 建築物
C3 建築計画／付帯施設等

(2) 工作物

【堺環濠都市地域】

④ 歴史的なまちなみとの繋がりに配慮した空間を創出する

この地域に残る町家や寺社等と建築物の壁面の位置を揃え、歴史的なまちなみを保全しましょう。壁面を揃えることが難しい場合は門柱や塀等を設けることで、壁面の位置を揃えましょう。



近隣の歴史的な建造物と壁面を揃えて、歴史的なまちなみの保全に努める



隣接する町家と壁面を揃えた建物



隣接する町家の壁面に合わせて塀を設置

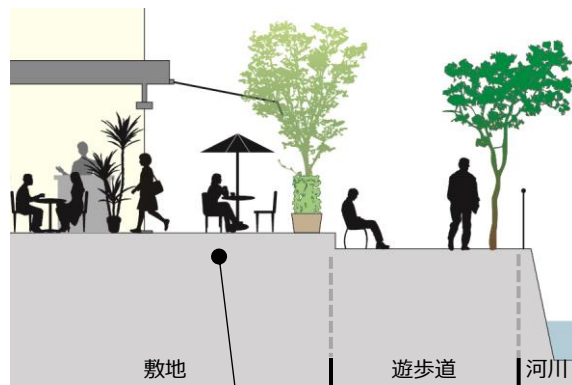


寺院の山門や塀に合わせて瓦付き塀を設置

【堺環濠都市地域】

⑤ 水辺を感じさせるような空間を創る

濠沿いの敷地は、護岸や遊歩道の緑豊かな緑化空間との一体感やつながりをもたせるように、敷地に植栽を配置したり空間を設けたりすることで、潤いを感じさせる緑豊かな水際空間をつくりましょう。



水際に、遊歩道と一体的な空間となるテラスを設置



テラスから水辺に下りことができ、水辺を身近なものにしている

(1) 建築物
A 地域特性

(1) 建築物
B まちなみ

(1) 建築物
C1 建築計画／配置・外構

(1) 建築物
C2 建築計画／建築物

(1) 建築物
C3 建築計画／付帯設備等

(2) 工作物

(1) 建築物
A 地域特性



水辺の緑がつながり、親水性を高めている

(1) 建築物
B まちなみ

(1) 建築物
C1 建築計画／配置・外構

(1) 建築物
C2 建築計画／建築物

(1) 建築物
C3 建築計画／付帯施設等

(2) 工作物

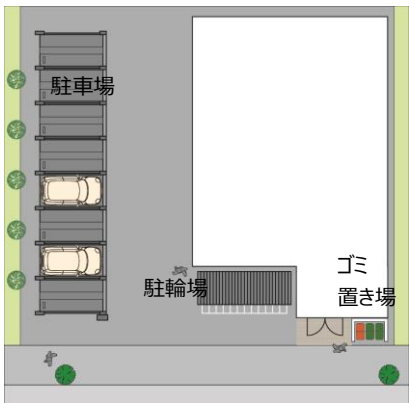
C1-3 屋外付帯施設（駐車場、駐輪場、ゴミ置き場、受水槽など）

	基準	解説
3つのエリア共通	屋外付帯施設は、できるだけ通りからめだたないように配置する、又は植栽によりめだたないように工夫するなど、通りから直接見えないように配慮する。	①
	屋外付帯施設は建築物本体と一体化したデザイン、又は本体に組み込むようなデザインとする。	
【解説】 駐車場や駐輪場、ゴミ置き場などの付帯施設は建築物を計画する上で必要となりますが、配置によっては景観を阻害することがあるため、めだたないように工夫しましょう。		

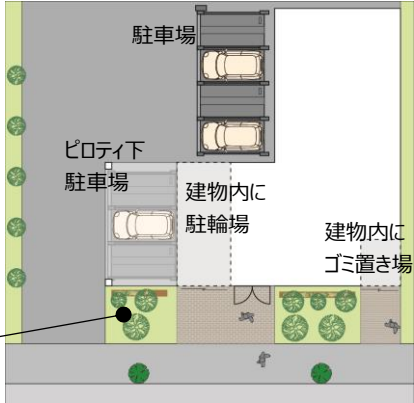
【3つのエリア共通】

① 周囲からめだたないように配置やデザインを工夫する

駐車場、駐輪場、ゴミ置き場、受水槽などはできるだけ通りから見えないように、建築物と一体化したデザインとし、配置を工夫したりしましょう。やむを得ず見える位置に配置する場合は、植栽やめかくしの設置、舗装の工夫などをしましょう。

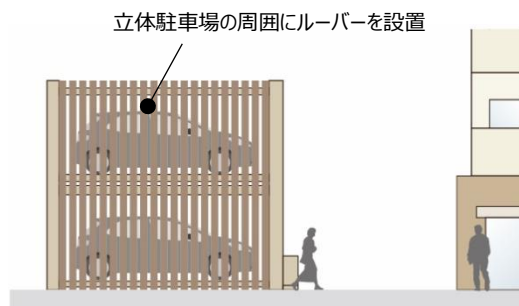
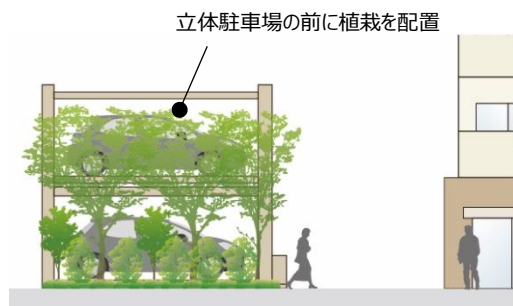


露出した屋外付帯施設が道路に面して配置されている



駐車場を敷地奥に配置し、駐輪場やゴミ置き場を建物内に配置している

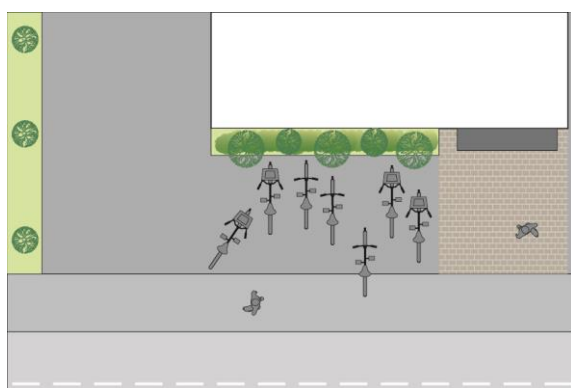
<駐車場>



無機質な立体駐車場がめだたないように工夫する



<駐輪場>



通りに乱雑な印象を与えることがないよう、植栽や塀などで工夫する



(1) 建築物
A 地域特性

(1) 建築物
B まちなみ

(1) 建築物
C1 建築計画／配置・外構

(1) 建築物
C2 建築計画／建築物

(1) 建築物
C3 建築計画／付帯設備等

(2) 工作物

(1) 建築物
A 地域特性

(1) 建築物
B まちなみ

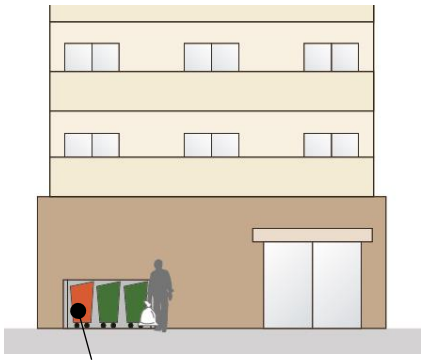
(1) 建築物
C1 建築計画／配置・外構

(1) 建築物
C2 建築計画／建築物

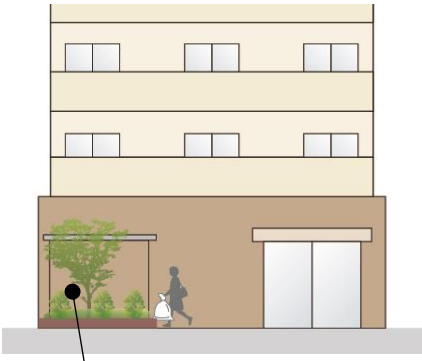
(1) 建築物
C3 建築計画／付帯施設等

(2) 工作物

<ゴミ置き場>



ゴミのコンテナボックスが通りから見える配置



ゴミ置き場が見えないように植栽や塀などを配置



ゴミ置き場が見えないよう建物内に配置し扉を設置



ゴミ置き場がめだたないよう前面に植栽を配置